

4本糸縁かがりぬいミシン

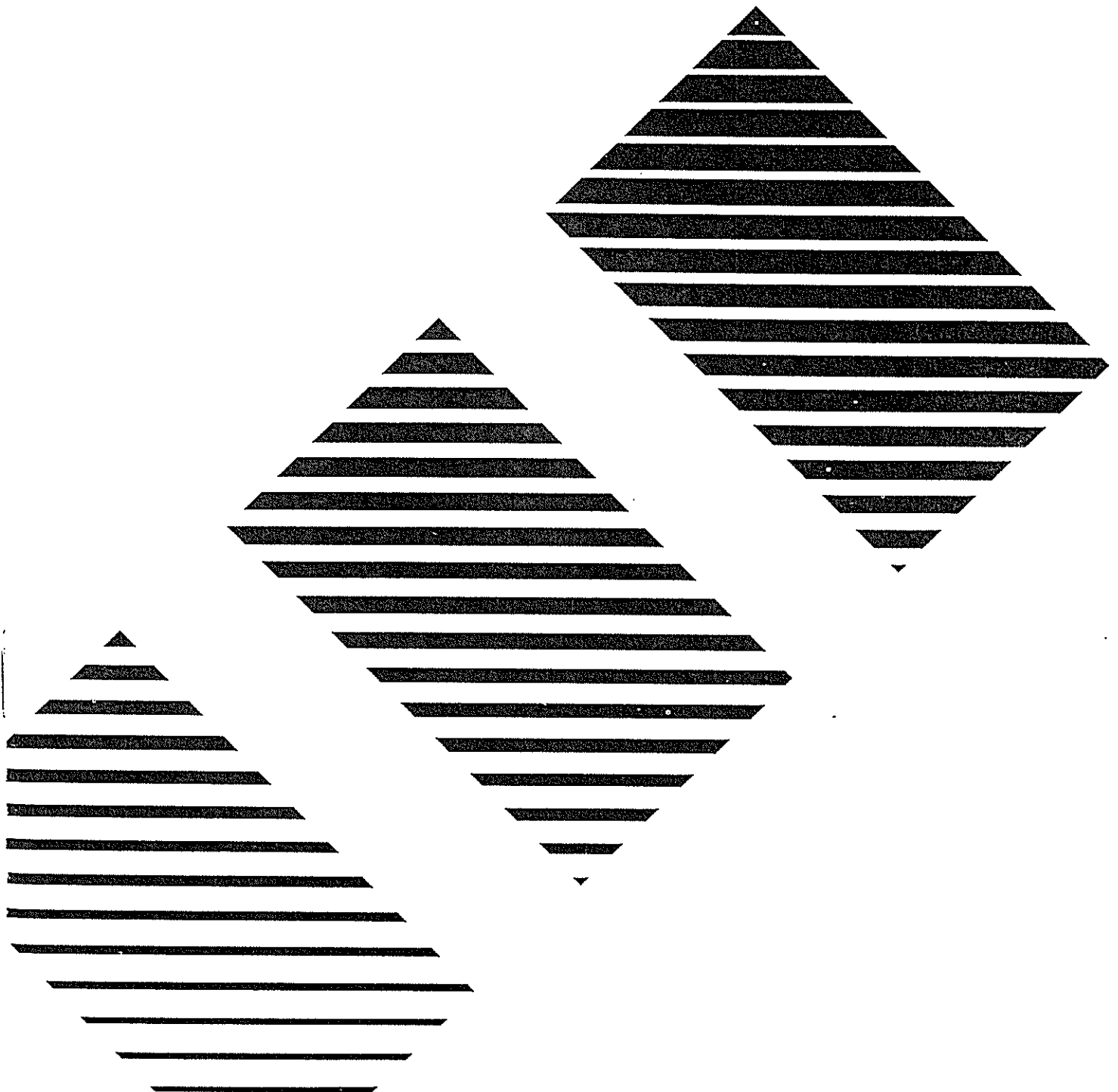
ホームロック

TE4-B765 / B775

取扱説明書

お買い上げまことにありがとうございます。この製品のすばらしい性能と、その正しい使いかたをご理解いただくために、この「取扱説明書」を最後までよくお読みください。

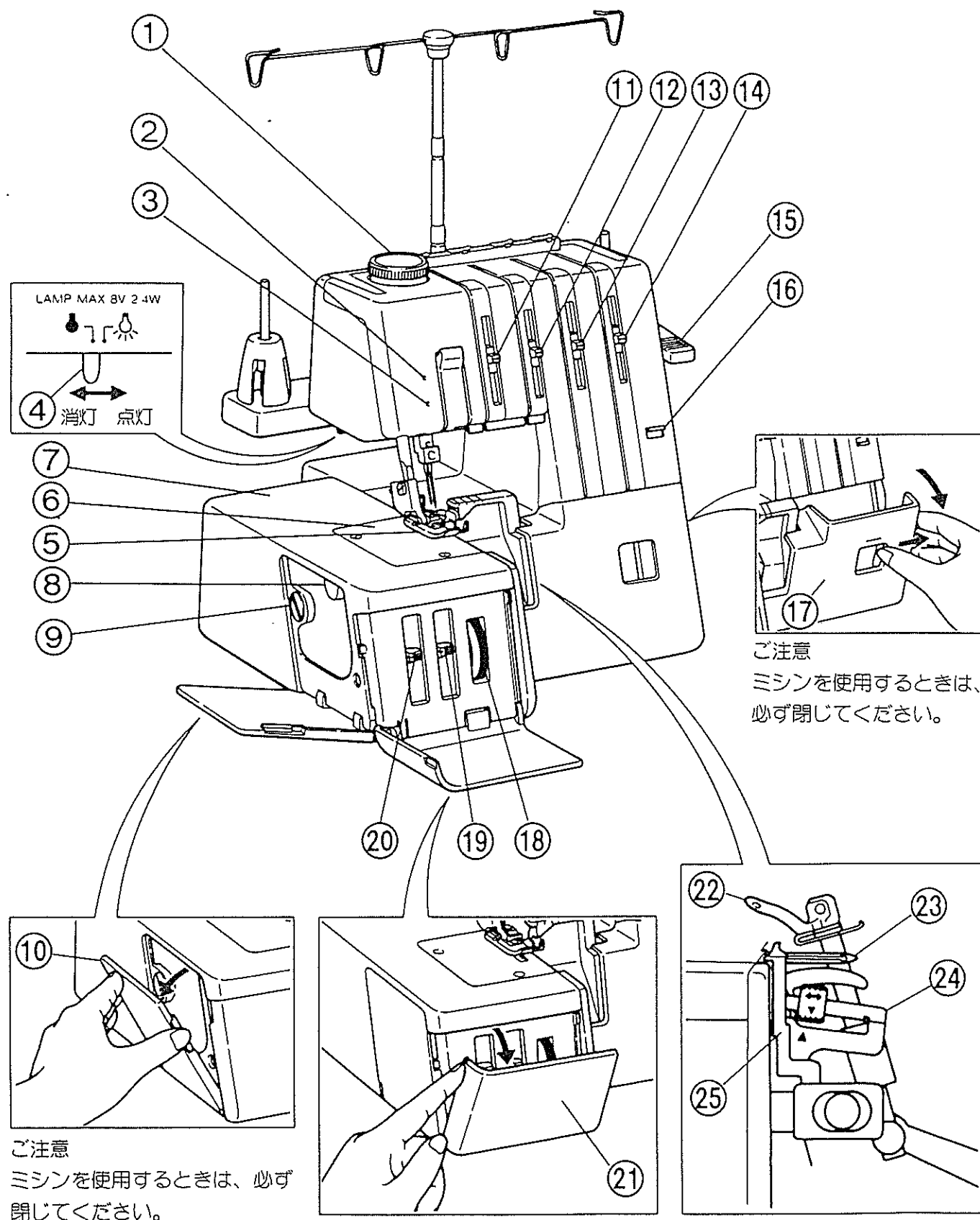
お読みになったあとは、保証書とともに、必ず保存してください。



もくじ

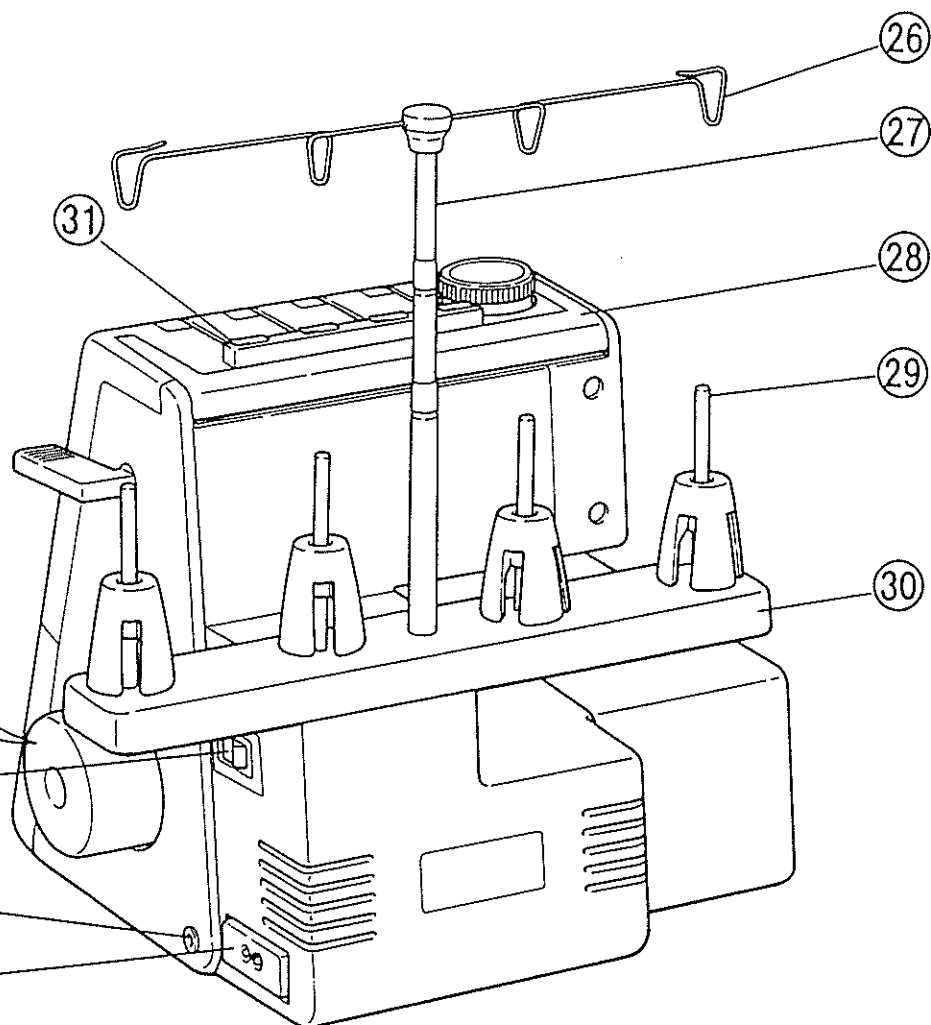
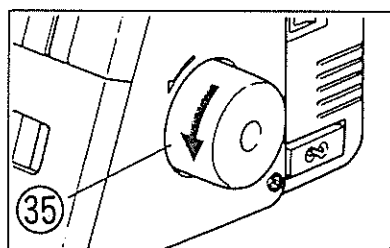
1. 各部の名称	1・2
ミシンの回転方向	
2. 電子機能(TE4-B775)	3
3. 付属品	4
4. 針の取り替え	5
5. 使用前の準備	6
糸こまキャップの取り付け方	
6. 糸の通し方	7～10
糸を通す前に	
糸通しの順序	
オーバールーパー糸の通し方	8
裁縫中にオーバールーパー糸が切れたときは	
アンダールーパー糸の通し方	9
裁縫中にアンダールーパー糸が切れたときは	
針糸の通し方	10
7. めってみましょう	11
8. めい目の種類	12
9. 布地・糸・針の関係	13
10. 糸調子	14～16
糸調子つまみ	
糸調子の調節順序	
こんなときには	15・16
11. めい目ピッチとかがり幅の調節	17
12. かがり幅とカット幅 微調節装置	18
13. 差動送り	19
14. 押え圧力の調節	20
15. 巻きぬいと細口ツクぬい	21・22
布地・糸の種類と糸調子	
16. 注油とお手入れ	23・24
17. こんなときには	24
18. ランプの交換	25
19. 上メスのたおし方	25
20. 仕様	26

1. 各部の名称



ミシンの回転方向

プーリーの回転方向は、普通の家庭用ミシンと同じ反時計方向です。



① 押え調節ダイヤル

② パイロットランプ
(TE4-B775)

③ 押えモニター
(TE4-B775)

④ ランプスイッチ

⑤ 布押え

⑥ 針板

⑦ 布板カバー

⑧ 上メス切換つまみ

⑨ 布板カバー締めねじ

⑩ サイドカバー

⑪ 糸調子つまみ(左針糸用)

⑫ 糸調子つまみ(右針糸用)

⑬ 糸調子つまみ

(オーバールーパー糸用)

⑭ 糸調子つまみ

(アンダールーパー糸用)

⑮ 押えあげレバー

⑯ スピードコントロールスイッチ
(TE4-B775)

⑰ 前カバー

⑱ カがり幅調節ダイヤル

⑲ ぬい目調節レバー

⑳ 差動調節レバー

㉑ コントロールカバー

㉒ オーバールーパー

㉓ アンダールーパー

㉔ アンダールーパー糸通し装置

㉕ 移動ステッチタング

㉖ 糸かけ

㉗ スタンド

㉘ 取手

㉙ スプール軸

㉚ 糸立て台

㉛ 糸案内

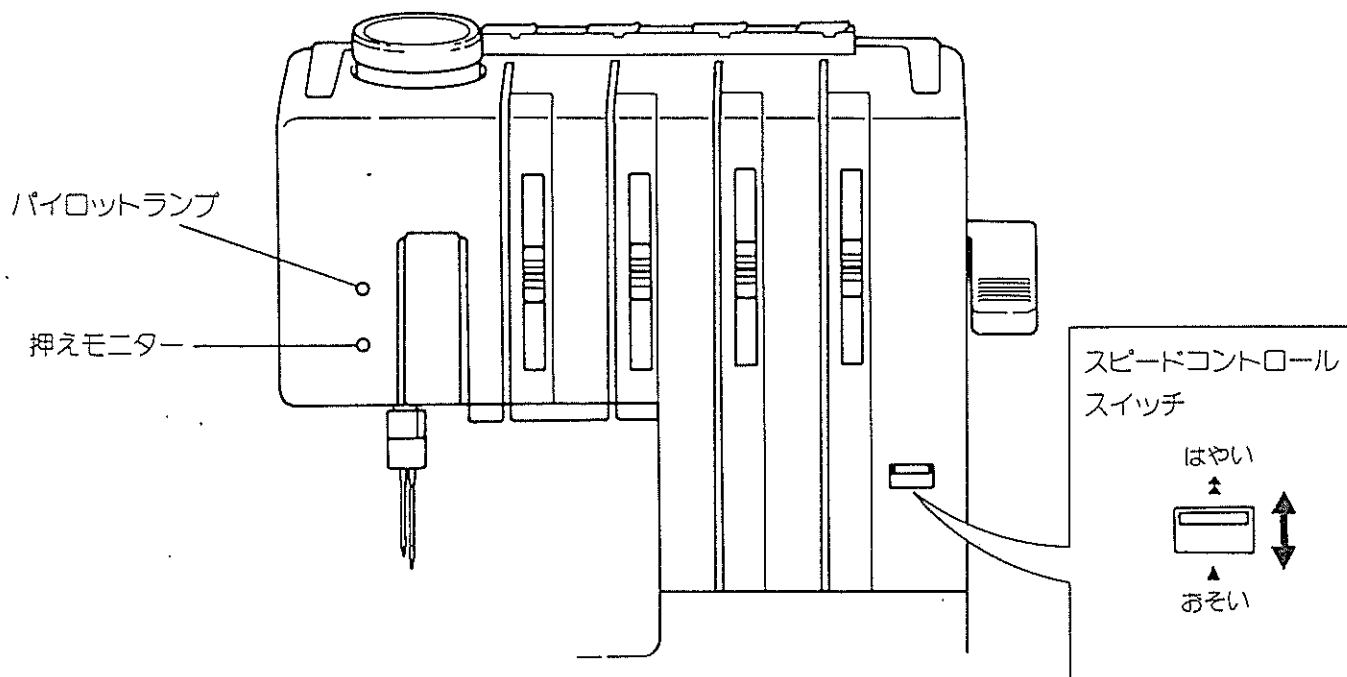
㉜ 電源スイッチ
(TE4-B775)

㉝ コントローラージャック
(TE4-B775)

㉞ ソケット

㉟ プーリー

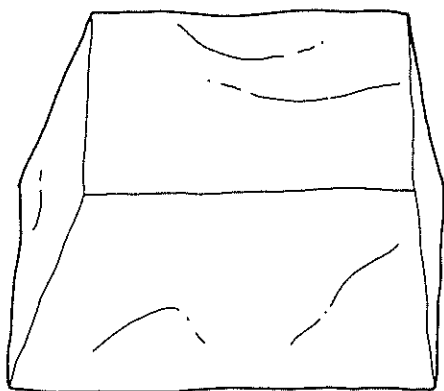
2. 電子機能(TE4-B775)



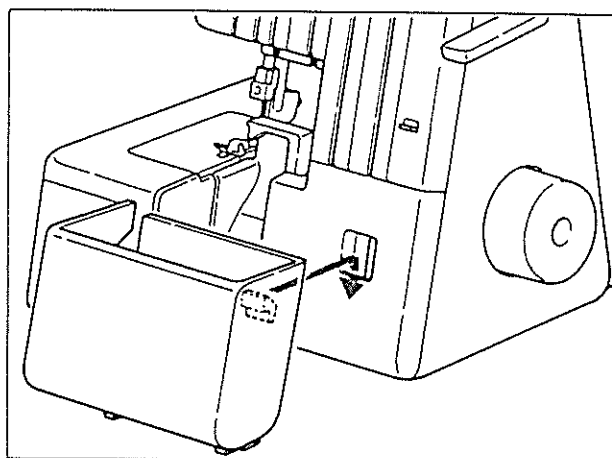
TE4-B775には、次の電子機能があります。

- 1) スピードコントロールスイッチにより、最高ぬい速度が毎分1500針と毎分700針に切り換えることができます。低速でも針のささりがよく、安定したスピードコントロールができます。
- 2) LEDモニター
 - a. パイロットランプ
 - 電源スイッチを〈ON〉にすると点灯します。
 - 糸がらみなどでモーターがロックしたとき、ミシンは運転されずLEDが点滅し、電子音“ピッピッピッ”を鳴らしてお知らせします。
 - b. 押えモニター
 - 布押えを上げると点滅します。
 - この状態でフットコントローラーを踏むと、ミシンは運転されず電子音“ピッピッ”を鳴らしてお知らせします。

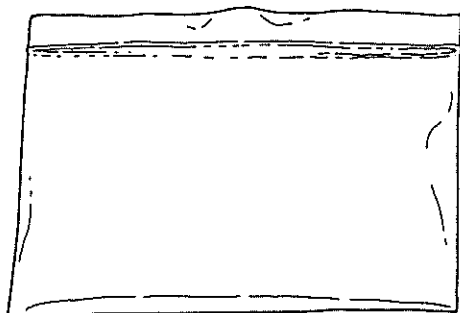
3. 付属品



ミシンカバー(1枚)



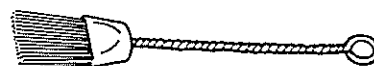
ダスターボックス



付属品ケース(1個)



油差し(1本)



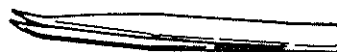
ミシンブラシ(1本)



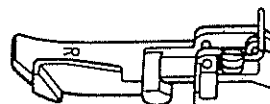
ネット(2個)



糸こまキャップ(4個)



ピンセット(1本)



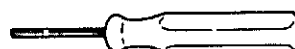
巻きぬい用押え(1個)



ミシン針(4本)

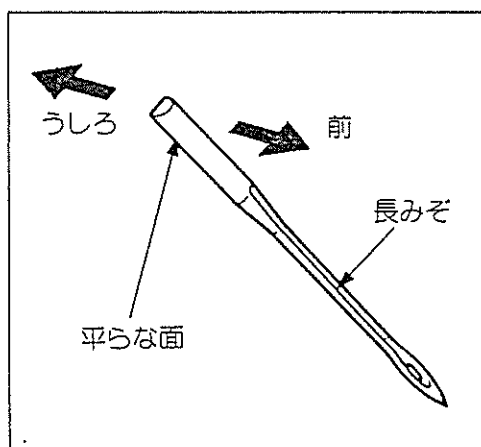


ねじまわし(1個)



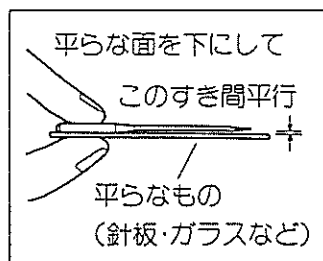
六角レンチ(1本)

4. 針の取り替え



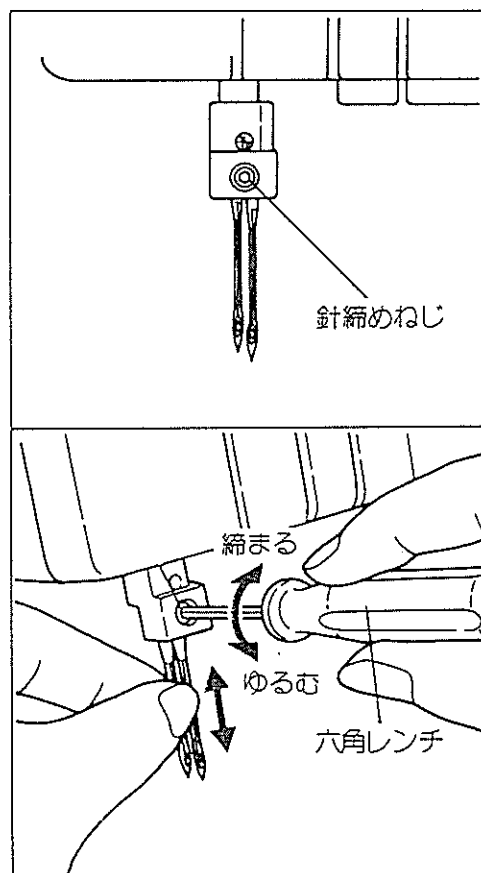
ミシンの針は、HA×1 (11番・14番)をご使用ください。

正しい針の調べ方



ご注意

- 針締めめじは、両方の針を締めています。
針締めめじをゆるめるときは、針を落とさないように注意してください。
- 針は左側が短くセットされます。



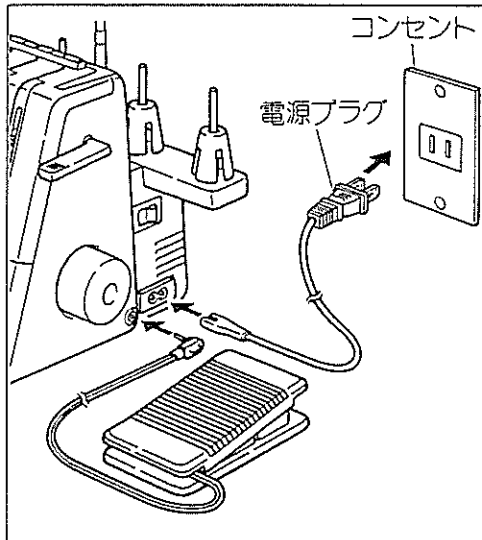
取りはずし方

- 1) 電源スイッチを<OFF>にします。
- 2) プーリーを回し針を最上位にします。
- 3) 両方の針をいっしょに持ち、針締めめじをゆるめて抜き取ります。

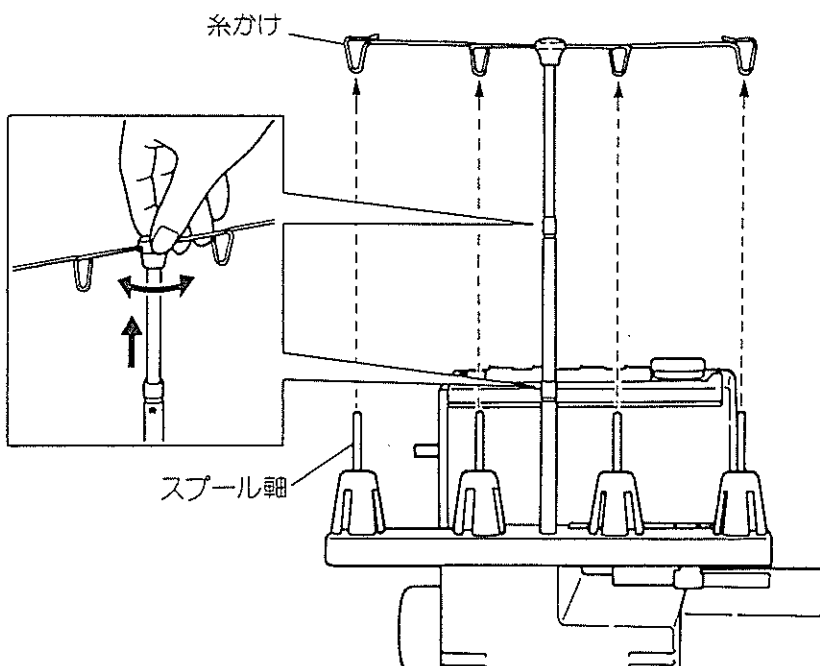
取り付け方

- 1) 電源スイッチを<OFF>にします。
- 2) プーリーを回し、針を最上位にします。
- 3) 針の平らな面をうしろにして、完全につかえるまで2本の針を差し込みます。
- 4) 両方の針をいっしょに持ち、針締めめじを締めます。

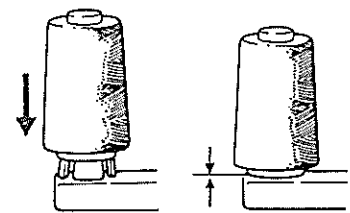
5. 使用前の準備



※マシンを使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグをぬいてください。

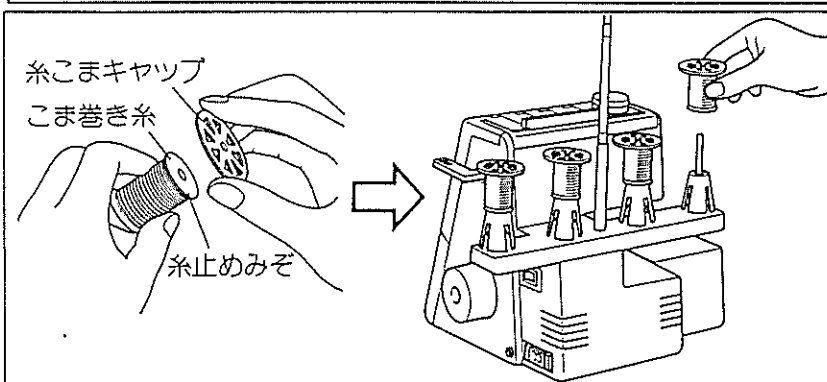


スタンドを伸ばし、糸かけがスプール軸の真上にくるように位置決めします。



糸こまを糸立て台にセットします。

糸こまキャップの取り付け方



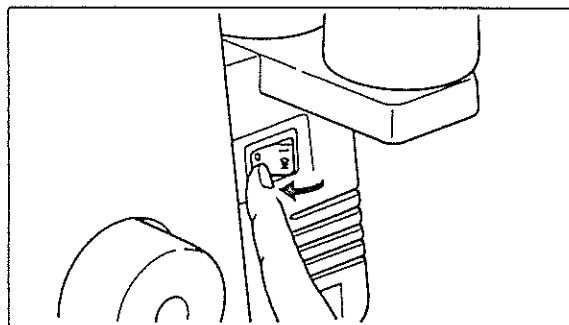
このマシンはチーズ巻き糸と、こま巻き糸が使用できます。
※こま巻き糸は、糸巻きの糸止めみぞのあるほうに糸こまキャップをはめてください。

ご注意

ウーリーナイロン糸を使用するときや、糸が糸案内からはずれるときは、ネットを付けてお使いください。

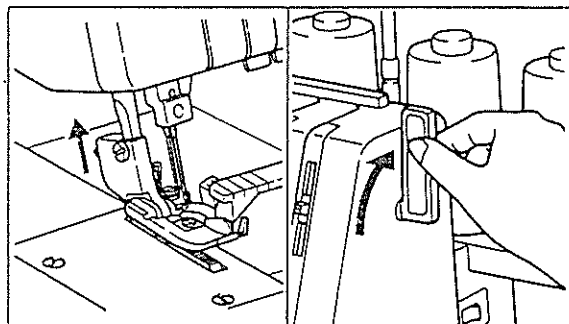


6. 糸の通し方

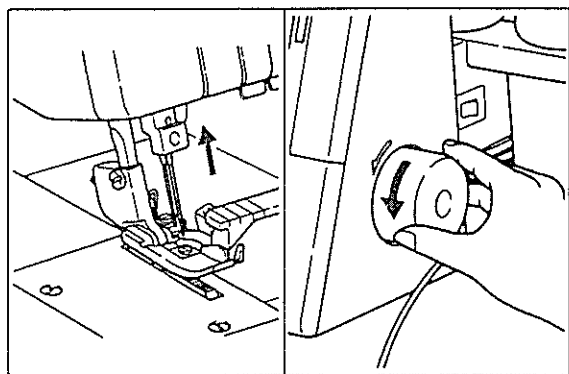
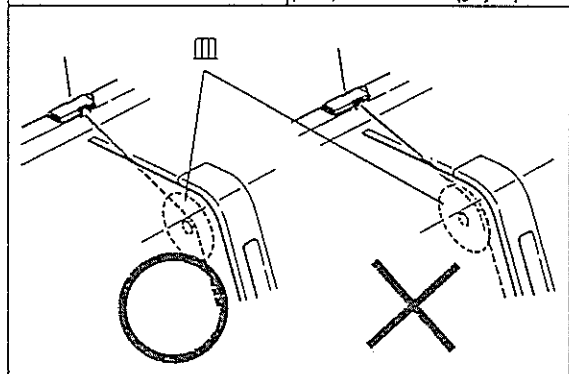


糸を通す前に

- 1) 安全のため、電源スイッチを<OFF>にします。
(TE4-B775)



- 2) 押えあげレバーを上げて、布押えを上げます。
布押えが上がっているときは、ミソ内部の皿が開き、糸が正しく入ります。そうしないと、正しい糸調子が得られません。



- 3) プーリーを回し、針を最上位にします。
この位置で、すべての糸通し（アンダールーパー、オーバールーパー、右針、左針）を行います。

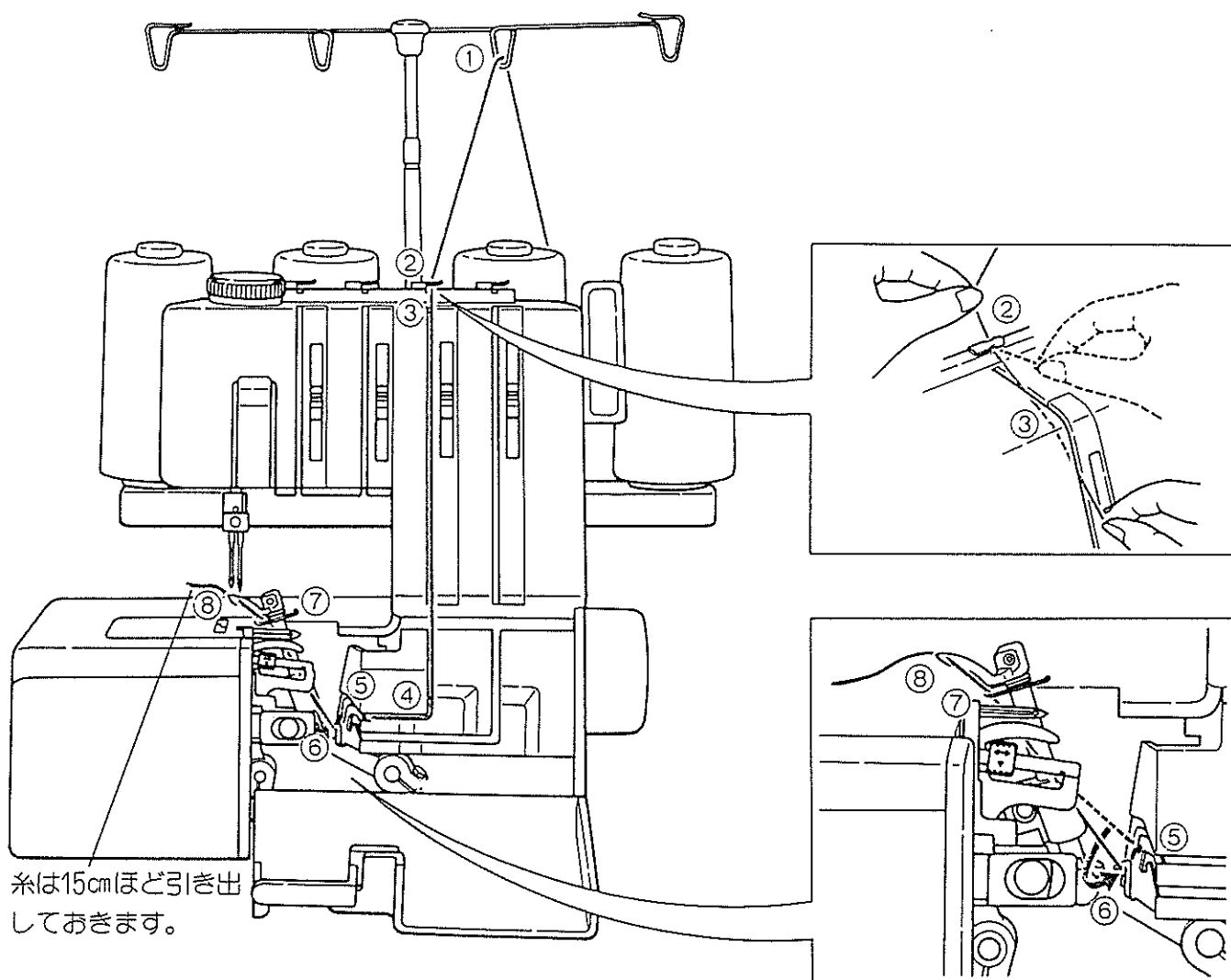
糸通しの順序

次の順に糸を通してください。

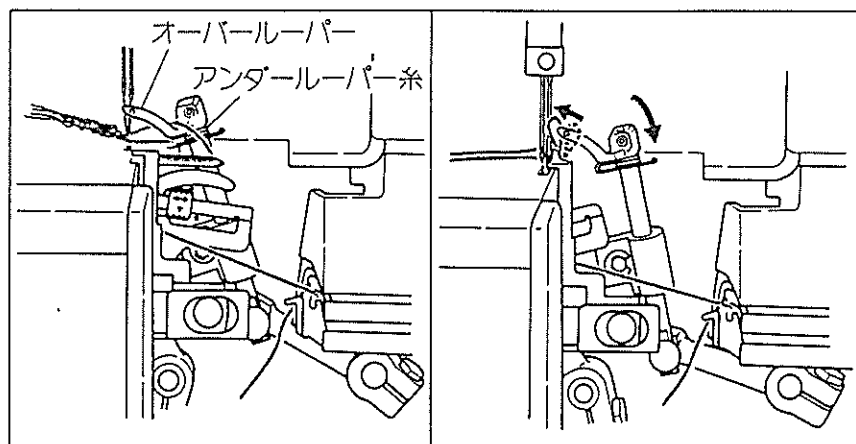
- 1) オーバールーパー糸(緑)
- 2) アンダールーパー糸(青)
- 3) 右針糸 (赤)
- 4) 左針糸 (黄)

オーバールーパー系の通し方

番号順に糸を通します。



裁縫中にオーバールーパー糸が切れたときは

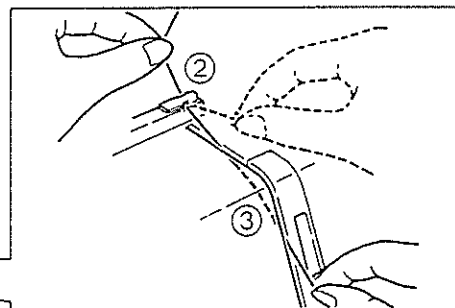
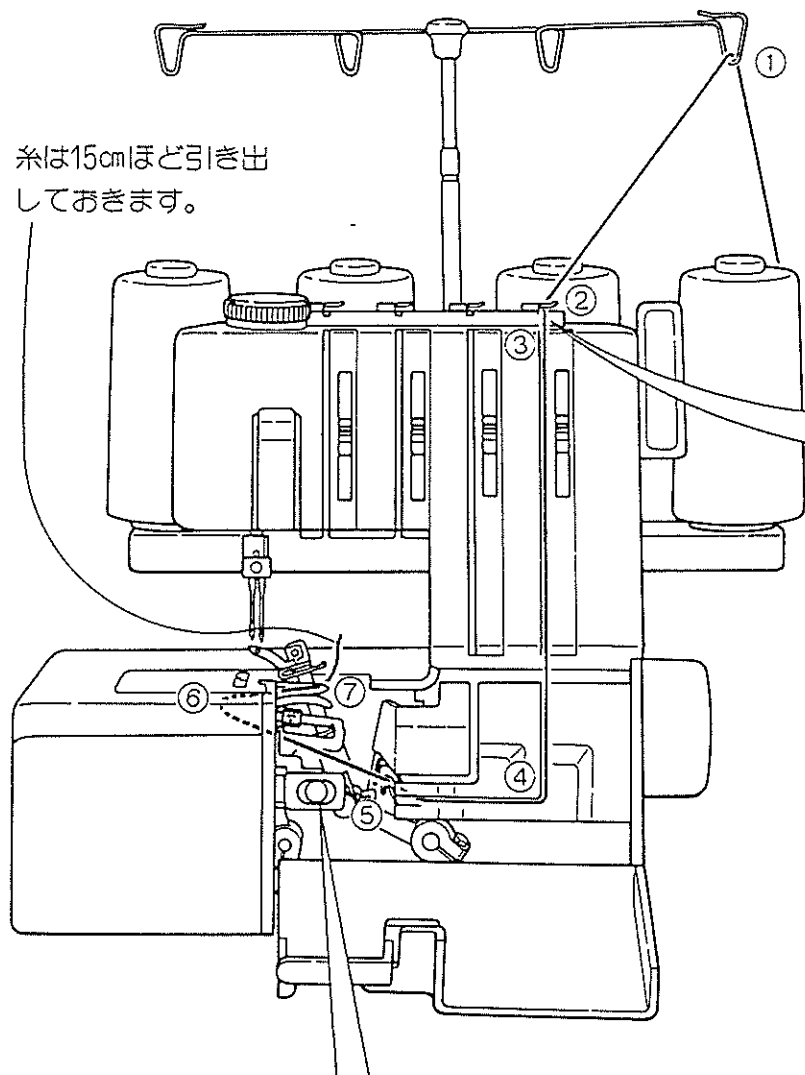


アンダールーパー糸が、オーバールーパーにかかっていることがあります。この場合は、プーリーを回してオーバールーパーを下げ、アンダールーパー糸をオーバールーパーからはずします。オーバールーパー糸を通し直してください。

アンダールーパー糸の通し方

番号順に糸を通します。

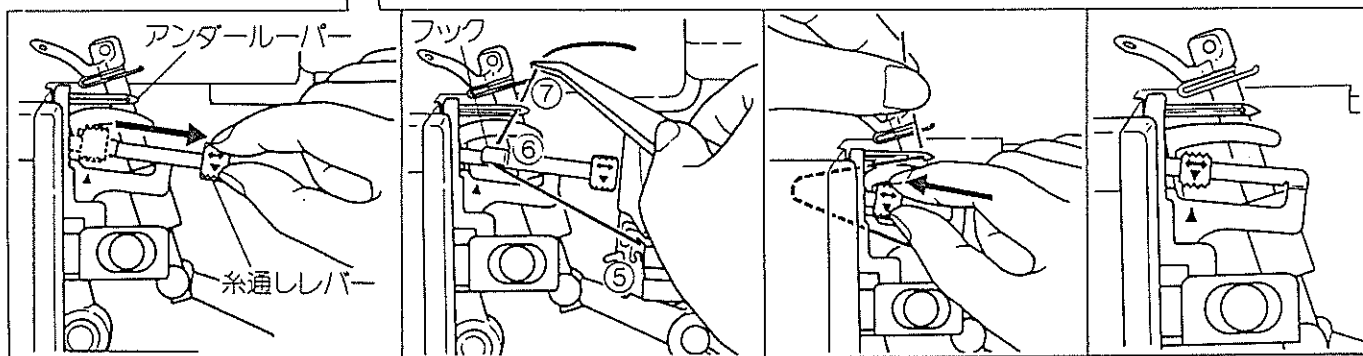
糸は15cmほど引き出しておきます。



裁縫中にアンダールーパー糸が切れたときは

アンダールーパー糸を通し直す前に針糸を針からはずし、それから、アンダールーパー糸を通し直してください。

この順序で通し直しないと、糸切れの原因となります。



糸通し装置の使い方

- 糸通しレバーを引き出します。
- アンダールーパーに糸を通し、フックに糸をかけます。
- 糸のはしを持ちながら、糸通しレバーをもとの位置にもどします。

ご注意

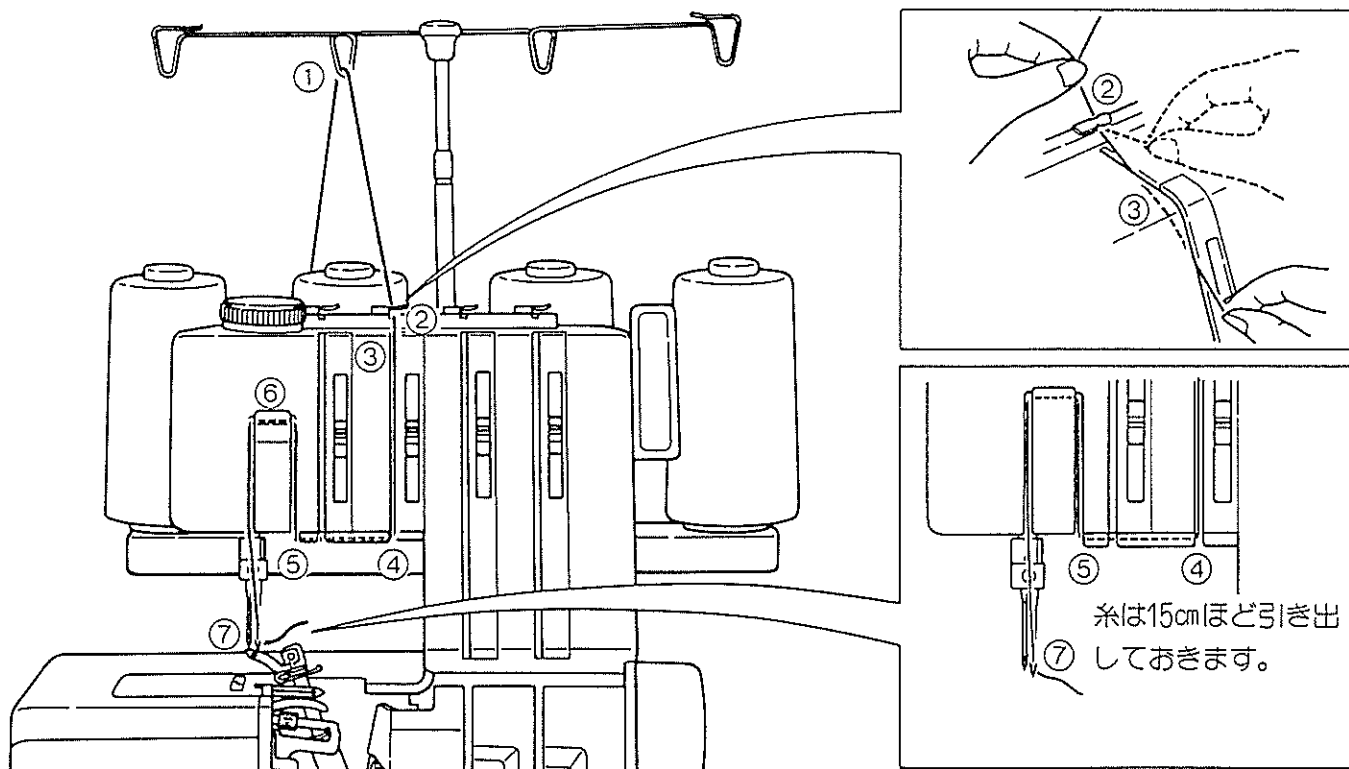
糸通しレバーをもどすときは、必ず赤い▼印を▲印の位置に合わせてください。

針糸の通し方

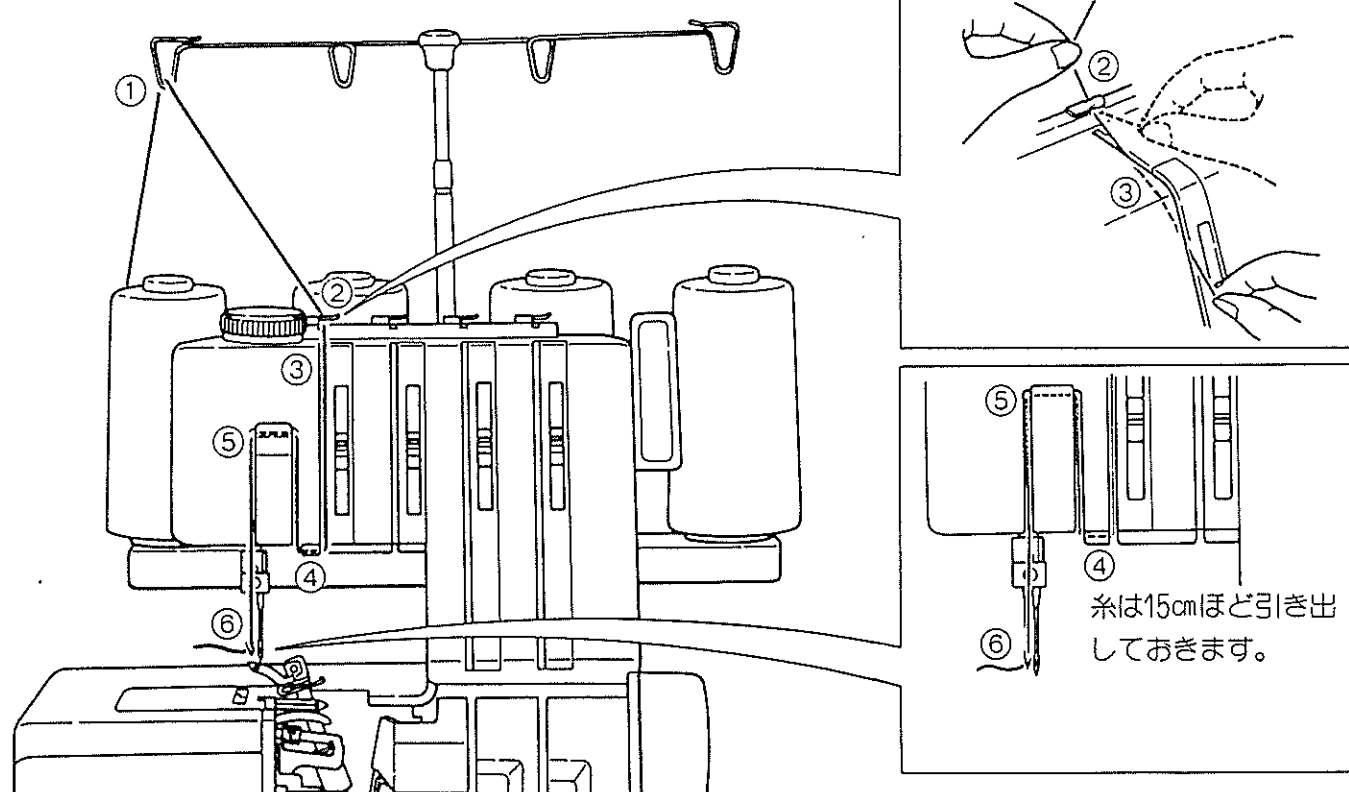
ご注意

必ず、アンダールーパー糸およびオーバールーパー糸を通してから行ってください。

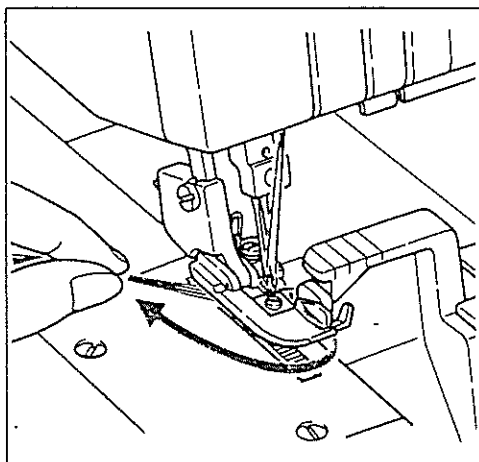
1) 右針糸



2) 左針糸

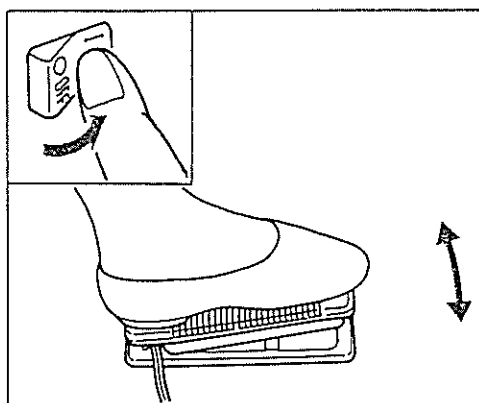


7. ぬってみましょう



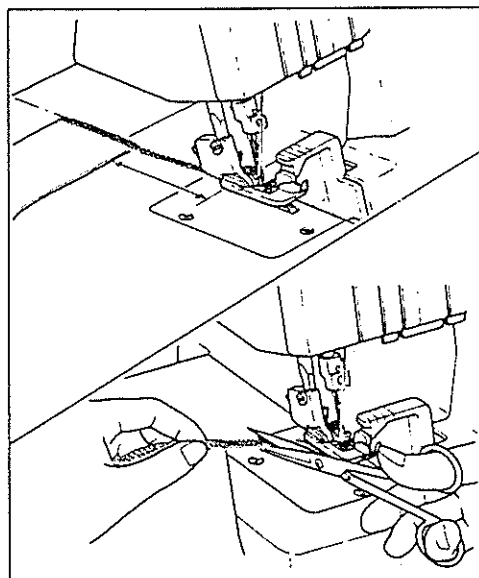
スタートします

- 糸を通し、布押えのうしろに15cmほど引き出しておきます。
- 布地を布押えの下にセットし、プーリーを2～3回手で回します。
- 糸のからみぐあいを確認めます。
もし正しいぬい目ができないときは、糸通しが正しくできているかどうか確かめてください。



運転操作

- 電源スイッチを〈ON〉(TE4-B775)、ランプスイッチを〈点灯〉にします。
- コントローラーは、強く踏むほど速くなります。
- 布地をセットし布押えを下げ、低速で試しぬいをします。

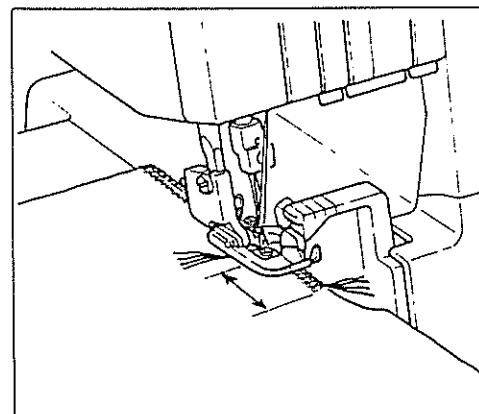


ぬいものをはずすには

- 布地の端までぬい終わったら、5cmほどカラぬいをします。
カラぬいした糸を切ります。

カラぬい

- ぬい終わったあと、しばらくミシンを低速で回します。
(カラぬい)
糸がからんでチェーンができ、自動的に送られます。

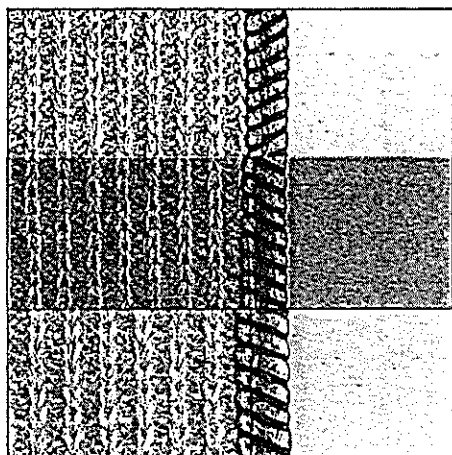


裁縫中に糸切れしたときは

- 布地をはずし、正しく糸を通し直します。
(7～10ページ糸の通し方参照)
糸切れしたところから3～5cm前の部分を布押えにセットし、前にぬったぬい目の上からぬいます。

8. めい目の種類

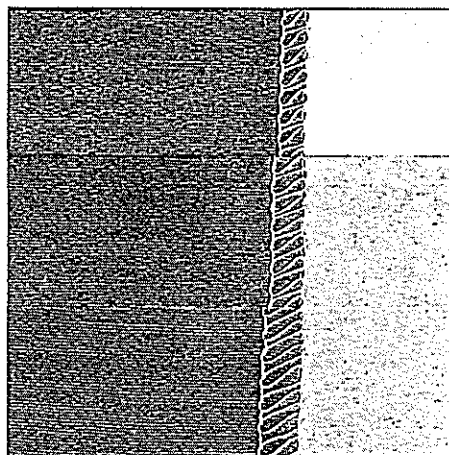
※これらのミシンは、簡単な操作で、次の4種類のめい目をぬうことができます。



1. 4本糸縁かがりめい
(かがり幅5、6、7mm)

4本の糸を使い、2本の針でぬいます。すべての種類の布地を美しくぬい上げます。特に、ニット地に適しています。

用途：ニット地の縁かぎに最適

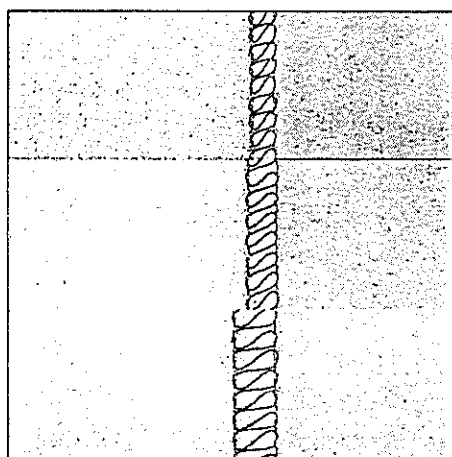


2. 3本糸縁かがりめい
(かがり幅5、6、7mm)

3本の糸を使い、左針1本でぬいます。すべての種類の布地を美しくぬい上げます。

右の針をはずしてください。

用途：スーツ、ブラウス、スラックスなどの縁かぎ



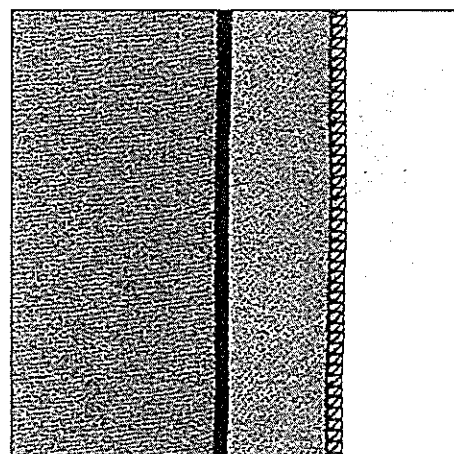
3. 3本糸縁かがりめい
(かがり幅2.8、3.8、4.8mm)

3本の糸を使い、右針1本でぬいます。すべての種類の布地を美しくぬい上げます。

左の針をはずしてください。

(17ページめい目ピッチとかがり幅の調節参照)

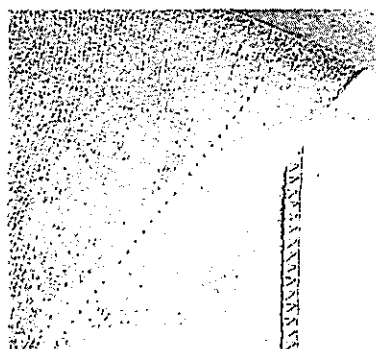
別売りの押えによるめい目



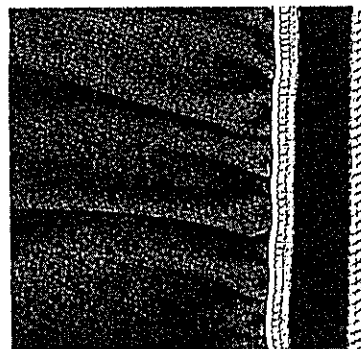
4. 巻きめい／細口ツクめい

3本の糸を使い、左針1本の針でぬいます。薄地の布地を美しくぬい上げます。

(21・22ページ巻きめいと細口ツクめい参照)



まつりめい



テープ付け

9. 布地・糸・針の関係

●この表を目安にすれば、きれいなぬい目が得られます。

布地の種類		糸の種類	ぬい目ピッチ	ミシン針
薄地	クレープデシン	スパン糸 80番	2~3 (約2~3mm)	HA×1 (11番)
	ジョーゼット	綿糸 80番~100番		
	オーガンジー	絹糸 80番~100番		
普通地	プリン	スパン糸 60番~80番	2.5~3.5 (約2.5~3.5mm)	HA×1 (11番または14番)
	ギンガム	綿糸 60番~80番		
	ブロード	絹糸 60番~80番		
	サッカー	綿糸 50番~80番		
	ギャバジン	テトロン糸 50番~80番		
	サージ	ナイロン糸 50番~80番		
厚地	※メリヤス		3~4 (約3~4mm)	HA×1 (14番)
	トリコット			
	カシミヤ	綿糸 40番~60番		
	デニム	絹糸 40番~60番		
厚地	ツイード	テトロン糸 30番~60番		
	※ジャージー	ナイロン糸 30番~60番		

※特にメリヤス・ジャージーなどのニット地は、下表を参考にするとより美しくぬい上がります。

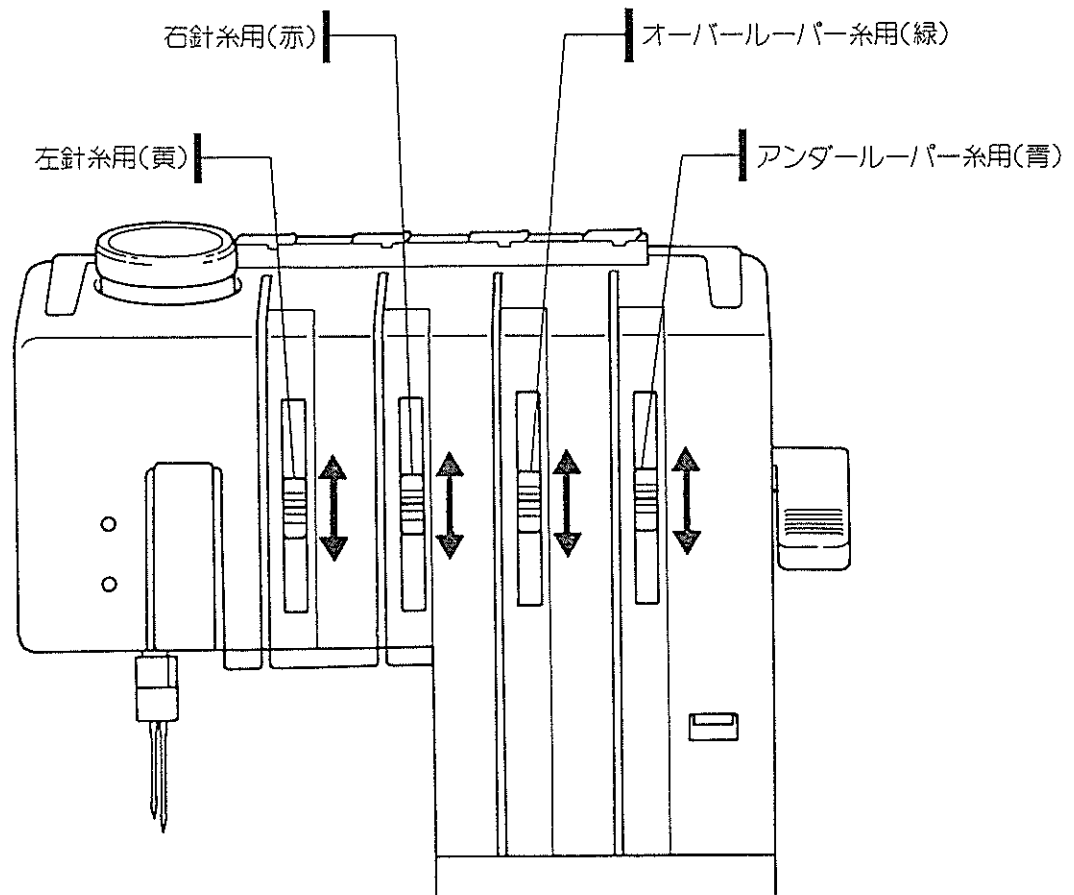
布地の種類		糸の種類	ぬい目ピッチ	ミシン針
ニット地	メリヤス ジャージー 毛糸編地	スパン糸 60番~80番	3~4 (約3~4mm)	HA×1 (14番)
		綿糸 60番~80番		
		テトロン糸 60番~80番		
		ウーリーナイロン糸(アンダー・オーバールーパー糸用)		
		ウーリーテトロン糸(アンダー・オーバールーパー糸用)		

お買い上げ時、このミシンはメリヤス地をぬうのに適した状態にセットされています。

針糸(右・左)はスパン糸60番、アンダー・オーバールーパー糸はウーリーナイロン糸、ミシン針はHA×1(11番)、ぬい目ピッチは3"(約3mm)また、差動送りもメリヤス地に合わせてセットしてあります。

10. 糸調子

糸調子つまみ



糸調子の調節

ほとんどの場合、“■”の位置でぬえます。

もし正しい糸調子がとれない場合は、上図に従って調節してください。

※このミシンの糸調子は、針糸用、オーバールーパー糸用、アンダールーパー糸用の各糸調子つまみによって調節できます。正しい糸調子は、布地の種類や糸の太さなどによって異なりますので、布地や糸に合った糸調子をとってください。糸調子つまみを上げると糸調子は強く、下げると弱くなります。

布地、糸、かがり幅等を変えたときは、15・16ページの“こんなときには”に従って調節してください。

糸調子の調節順序

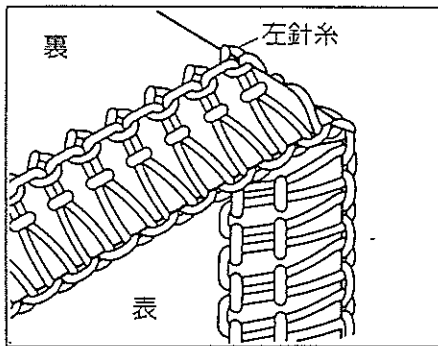
糸調子の調節は、次の順序で行ってください。

- 1) 左針糸
- 2) 右針糸
- 3) オーバールーパー糸
- 4) アンダールーパー糸

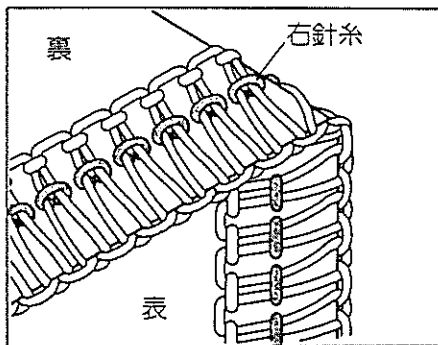
この方法で、最も簡単に正しい糸調子が得られます。

こんなときには

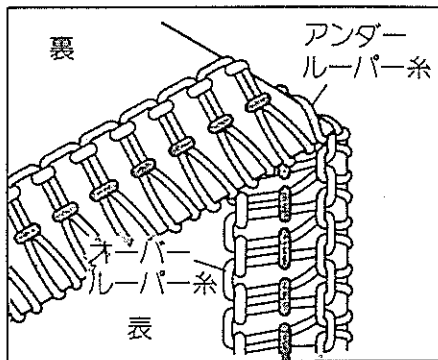
こんなときには



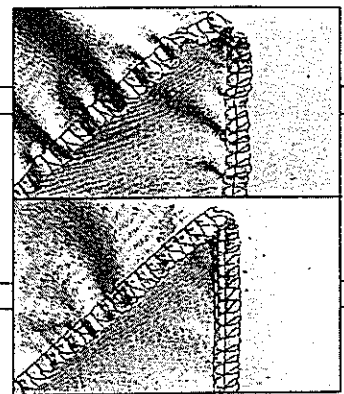
左針糸が弱過ぎる。



右針糸が弱過ぎる。

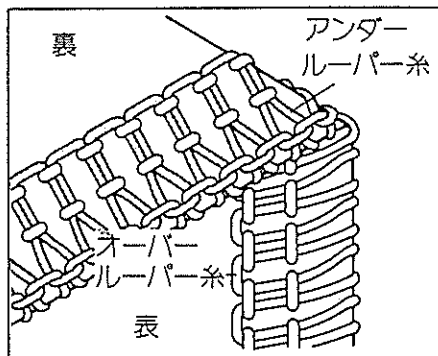


左針糸が強過ぎる。

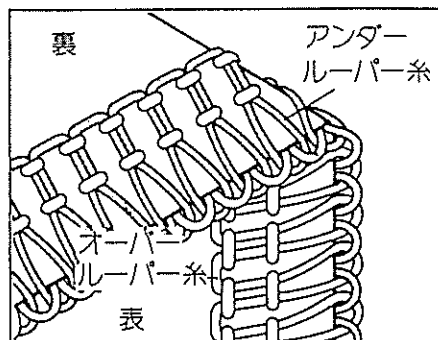


右針糸が強過ぎる。

オーバールーパー糸が強過ぎる。



アンダールーパー糸が弱過ぎる。

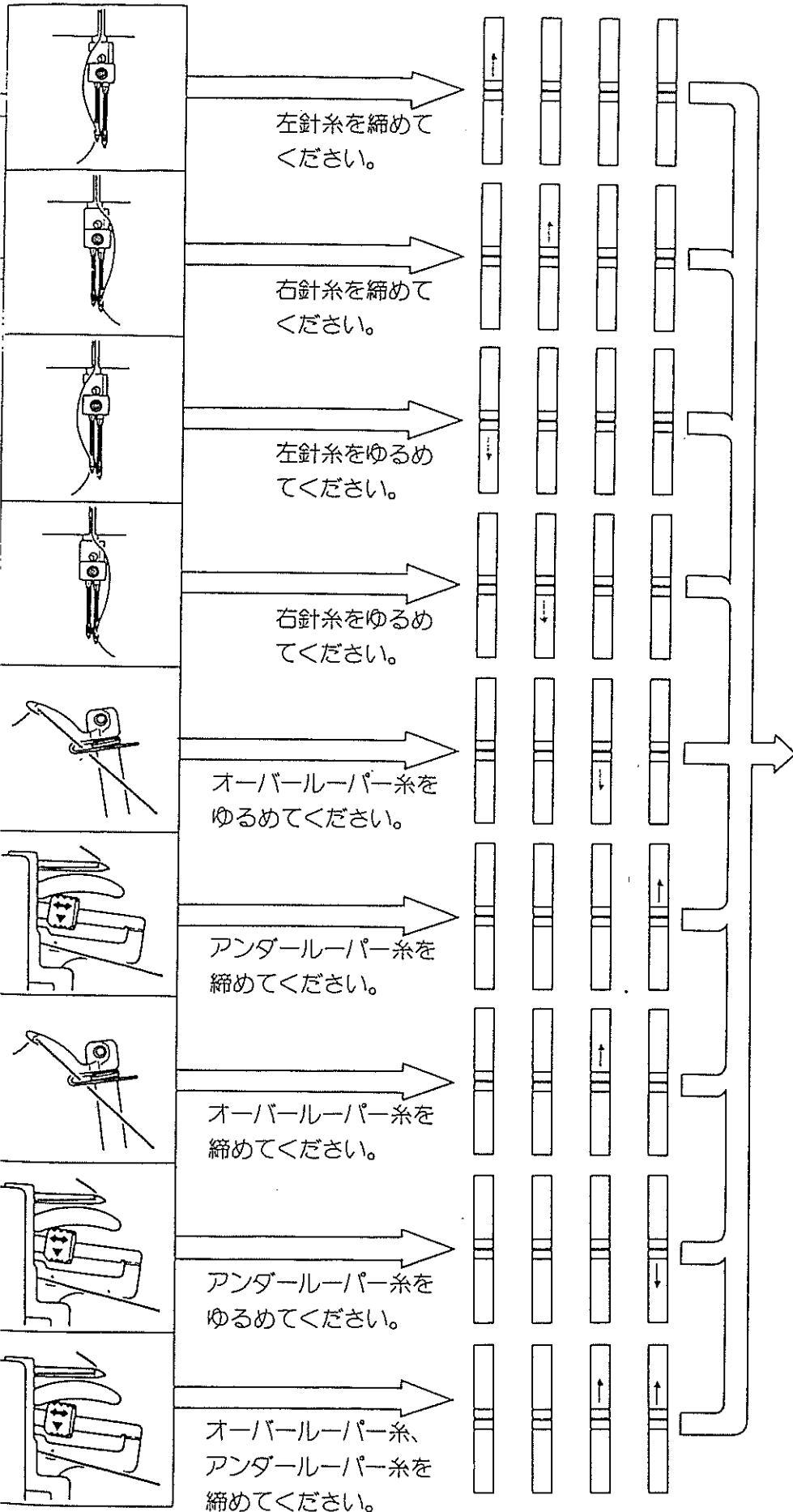


オーバールーパー糸が弱過ぎる。

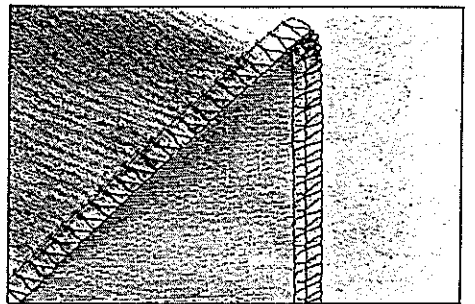
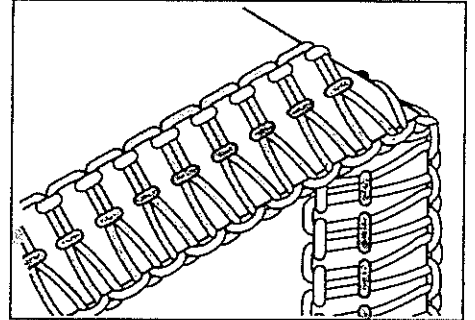
アンダールーパー糸が強過ぎる。

オーバールーパー糸、
アンダールーパー糸が
弱過ぎる。





正しい糸調子



11. ぬい目ピッチとかがり幅の調節

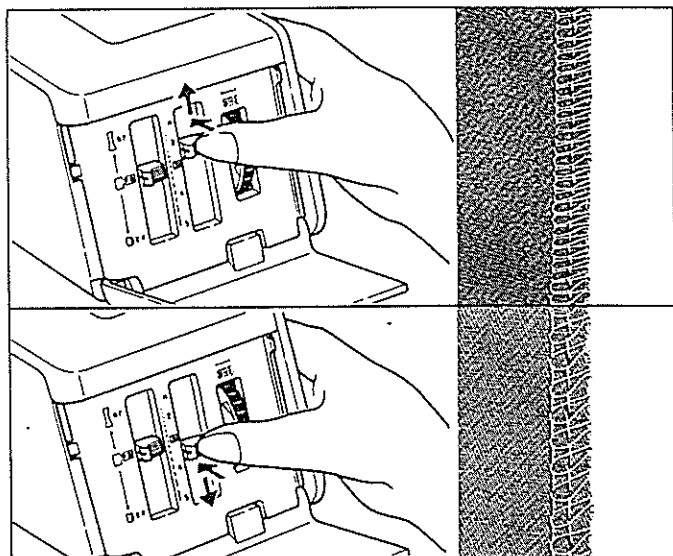
ぬい目ピッチの調節

コントロールカバーを開き、ぬい目調節レバーを押しながら上下に動かして目盛に合わせます。

最小 1mm (目盛R)

最大 5mm (目盛5)

※1～2mm(目盛R～2)は巻きぬい用です。



かがり幅の調節

コントロールカバーを開き、かがり幅調節ダイヤルを回して調節します。

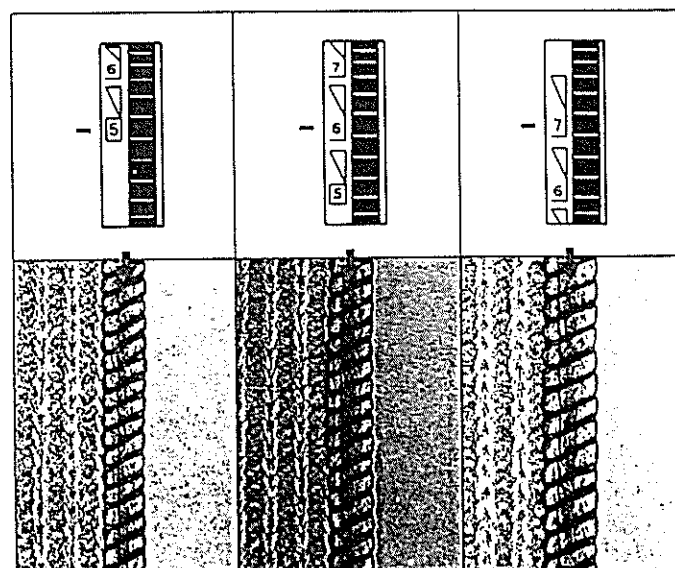
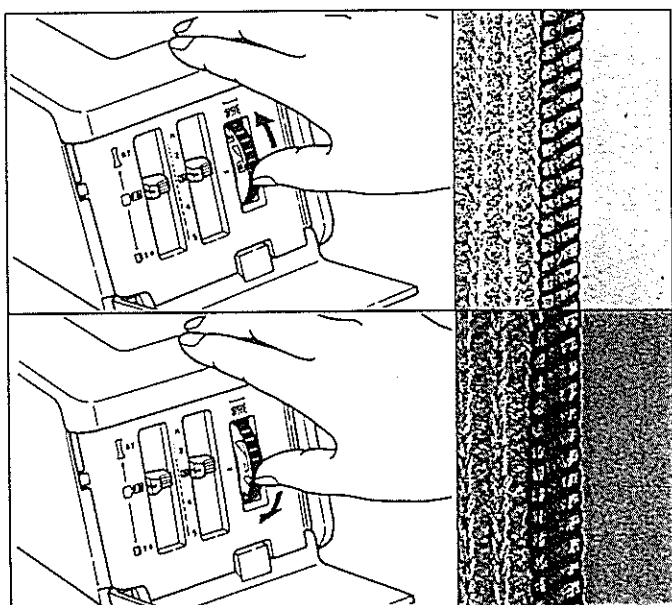
※かがり幅調節ダイヤルの“R”は、巻きぬい用です。

(21・22ページ参照)



ご注意

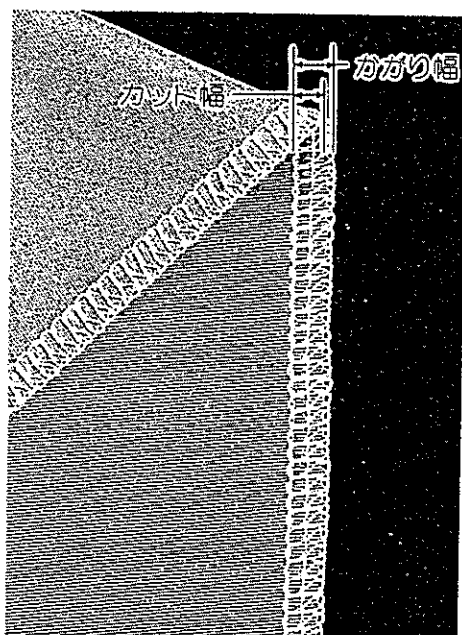
- かがり幅調節ダイヤルを回すときは、布押えを上げてください。



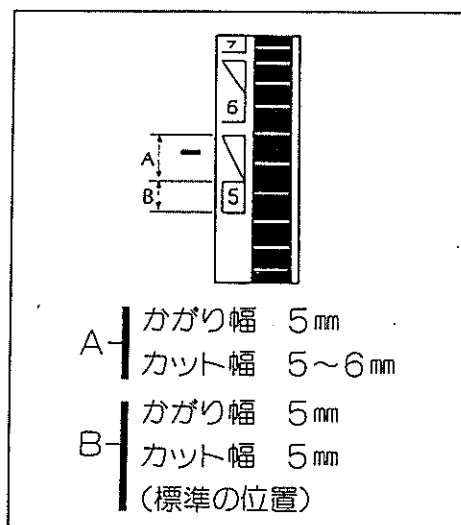
ダイヤルNo	R	5	6	7
4本糸	—	5 mm	6 mm	7 mm
3本糸(左針)	巻きぬい 細口ツク ぬい	5 mm	6 mm	7 mm
3本糸(右針)	—	2.8mm	3.8mm	4.8mm

巻きぬい及び細口ツクぬいは、21・22ページを参照してください。

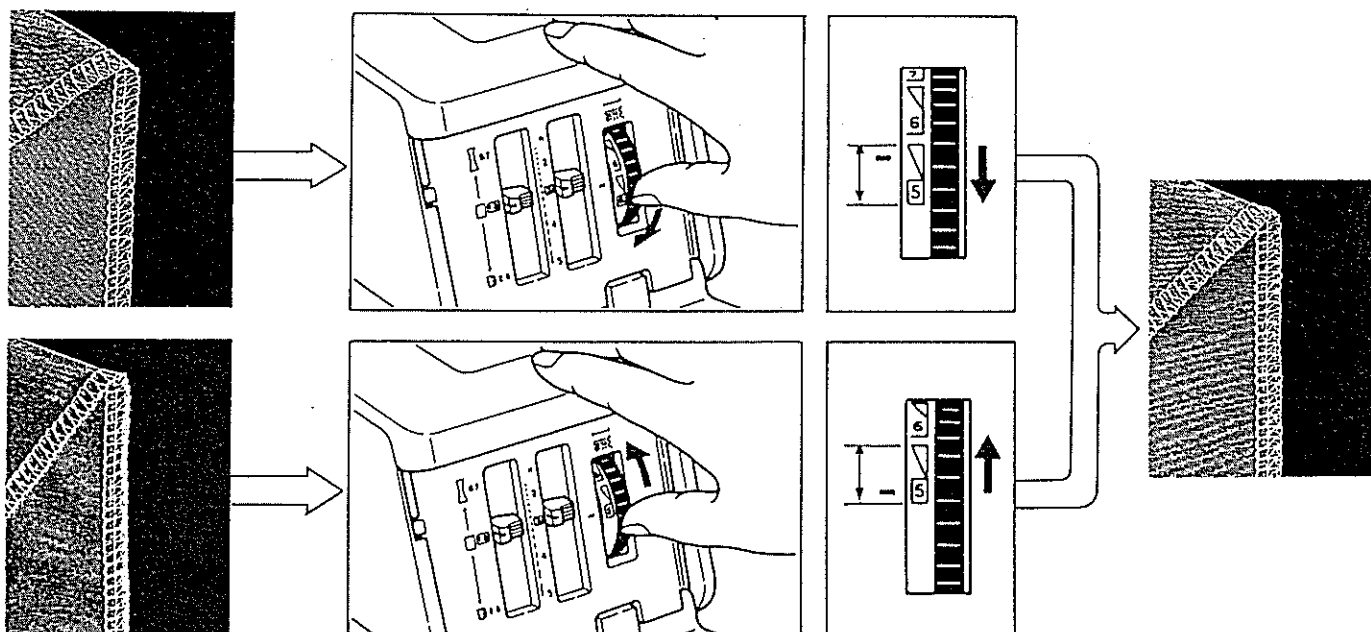
12. かがり幅とカット幅 微調節装置



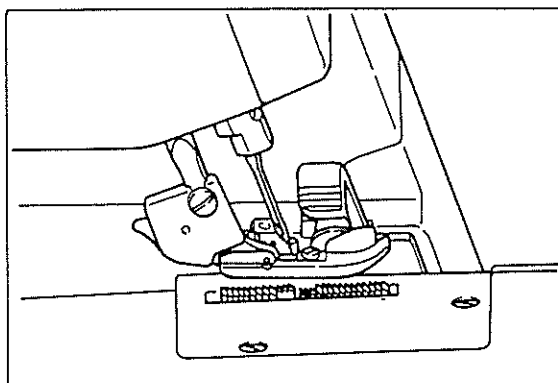
ニット地のような伸縮性のある布地をぬった場合、カット幅がかがり幅よりせまくなることがあります。このようなときには、かがり幅を一定にしたままカット幅を微調節することができます。このマシン独自の装置によりニット地も美しくぬい上げることができます。



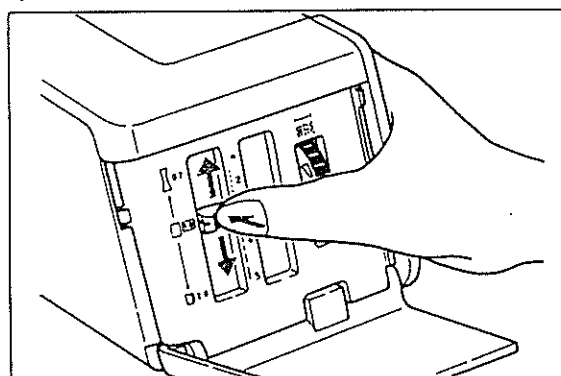
かがり幅調節ダイヤルを回すと、かがり幅(ステッチタングの位置)は、5mm、6mm、7mmと段階的にセットされますが、カット幅(メスの位置)は、無段階に調節できます。たとえば、5mmのかがり幅でぬってカット幅が5mmよりせまくなってしまう場合、かがり幅調節ダイヤルの“A”の範囲で、カット幅を広めに(5mm～6mm)調節してください。



13. 差動送り



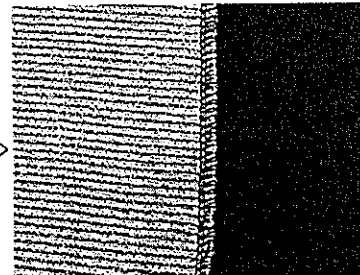
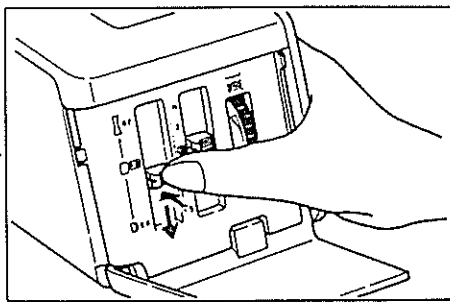
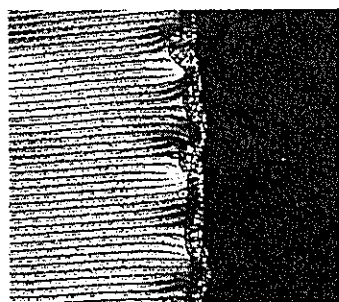
差動送りとは、うしろの送り歯(ぬい目ピッチの目盛)に対して、前の送り歯の布送り量を変えることで、布地を伸ばしたり縮めたりしながらぬうことができます。たとえば、ぬい目ピッチを“3”(約3mm)差動比“2.0”にした場合、前の送り歯は約6mm布地を送ります。また、差動比“1.0”にした場合、前の送り歯は約3mm布地を送ります。



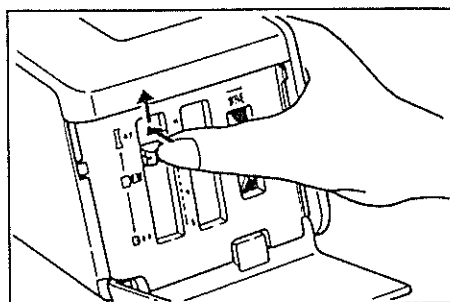
差動送りの調節

コントロールカバーを開き差動調節レバーを押しながら、上下に動かして目盛に合わせます。

応 用 例	差動送りのはたらき	送り歯(後)	差動比	送り歯(前)
薄地のパッカリング防止 ストレッチロック	布を伸ばしながら、 ぬいます。		0.7~1.0	
普通の縁かがりぬい	普通に、ぬいます。		1.0	
伸縮性のある布地のぬい伸び防止 シャーロック	布を縮めながら、ぬ います。		1.0~2.0	

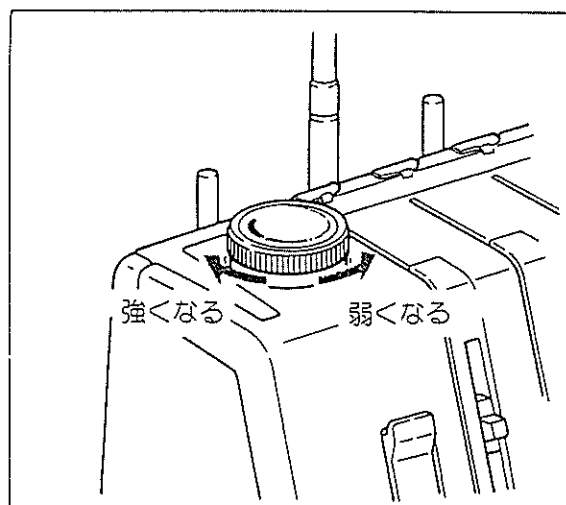


正しいぬい目



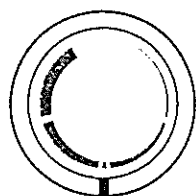
用途

14. 押え圧力の調節



押え圧力は、押え調節ダイヤルを回して調節することができます。

ほとんどの場合、押え圧力を調節する必要はありませんが調節する場合には次の要領で行います。

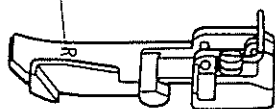


普通地の目安

薄地	}	→ 弱く
伸縮地		
厚地	→ 強く	

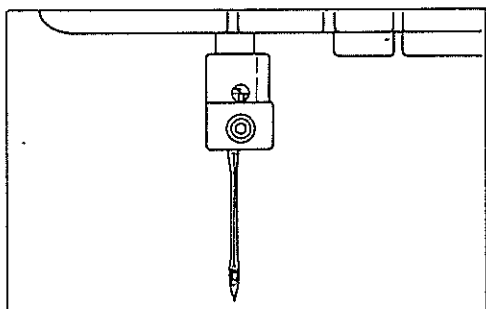
15. 巻きぬいと細口ツメぬい

押え記号

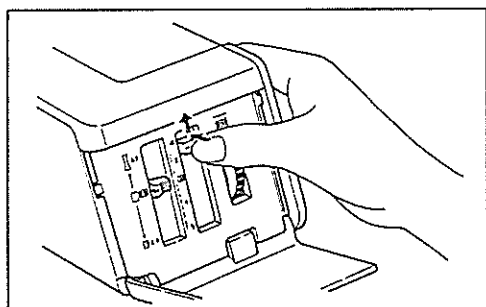


巻きぬい用布押えを用意します。

※巻きぬい用布押えには、〈R〉の表示があります。



1. 右針を取りはずします。

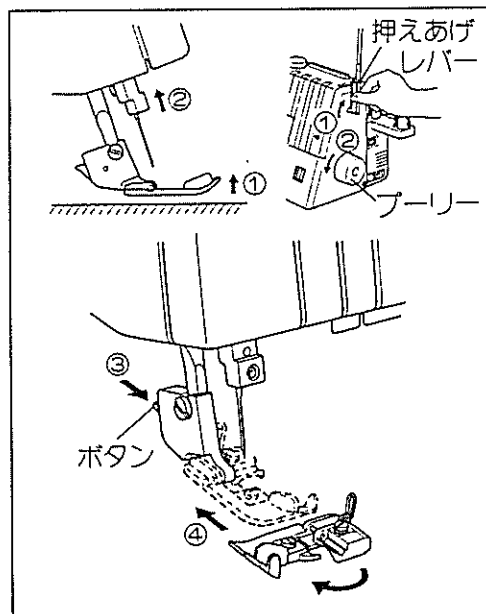
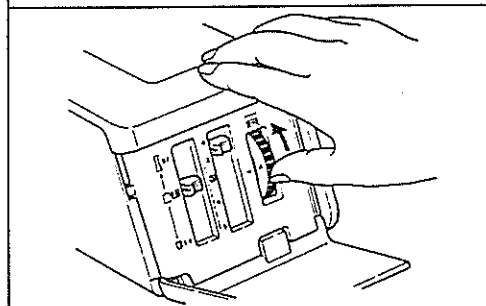


2. ぬい目ピッチとかがり幅を調節します。

1) コントロールカバーを開けます。

2) ぬい目調節レバーを“R”と“2”の間で合わせます。

3) かがり幅調節ダイヤルを“R”に合わせます。



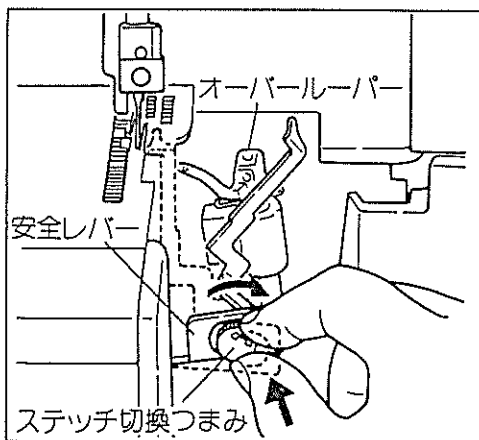
3. 縁かがり用布押えを取りはずします。

1) 押えあげレバーを上げます。

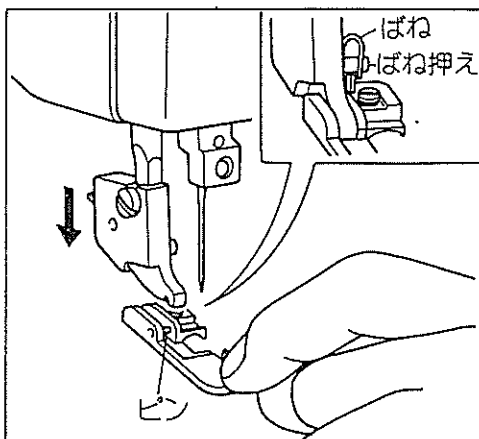
2) プーリーを回し、針を最上位にします。

3) ボタンを押します。

4) 押えあげレバーをさらにもう一段上げ、図のように押えホルダーのうしろからはずします。



4. 巻きぬいステッチに切り換えます。
- 1) 前カバーを開けます。
 - 2) プーリーを回し、オーバーラーパーを最下位にします。
 - 3) 安全レバーを押しながら、ステッチ切換つまみを回して切り換えます。



5. 巻きぬい用布押え(R)を取り付けます。
- 1) プーリーを回し、針を最上位にします。
 - 2) 押えあげレバーを2段めまで上げ、押えホルダーのうしろから入れます。
 - 3) 巻きぬい用布押えのばねをばね押えの前に合わせ、ピンを押えホルダーの下に置きます。
 - 4) 巻きぬい用布押えを軽く持ち、押えあげレバーを下げます。
- ※押えあげレバーをもう一度上下させ、確実にセットしているか確認してください。

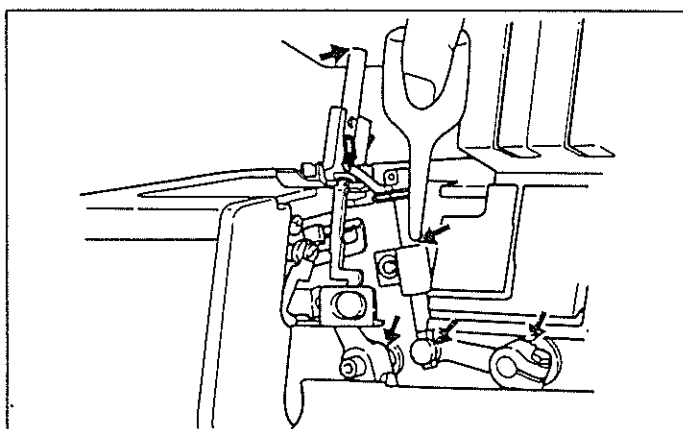
ご注意

- 安全レバーは、オーバーラーパー最下位の状態でしか押せません。
- ステッチ切換つまみは、必ず布押えをはずした状態か、押えあげレバーを上げた状態で回してください。

布地・糸の種類と糸調子

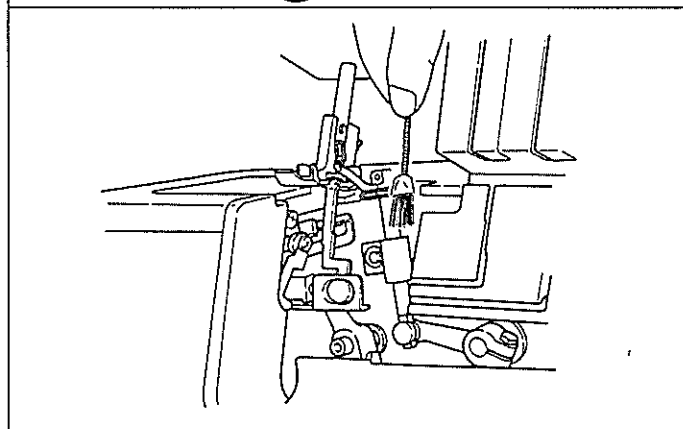
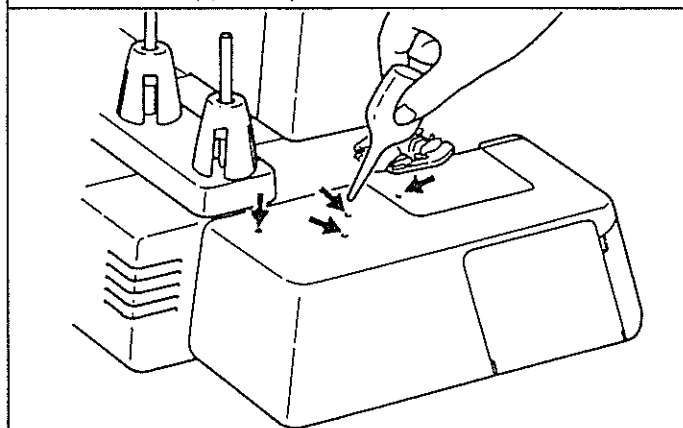
巻きぬい	布 地	針	糸	オーバーラーパー糸	アンダーラーパー糸
巻きぬい	薄 地 (クレープデシ ジョーゼット □ ー ン オーガンジー など)	糸	ナイロン糸 80番 テトロン糸 80番	ウーリーナイロン糸	ナイロン糸 80番 テトロン糸 80番
			糸調子 普 通 黄色	弱 < 緑色	強 < 青色
細口ツクぬい	薄 地 (クレープデシ ジョーゼット □ ー ン オーガンジー など)	針	ナイロン糸 80番 テトロン糸 80番	オーバーラーパー糸	アンダーラーパー糸
			糸	ウーリーナイロン糸 ナイロン糸 80番 テトロン糸 80番	ナイロン糸 80番 テトロン糸 80番
			糸調子 普 通 黄色	普 通 緑色	普 通 青色

16. 注油とお手入れ



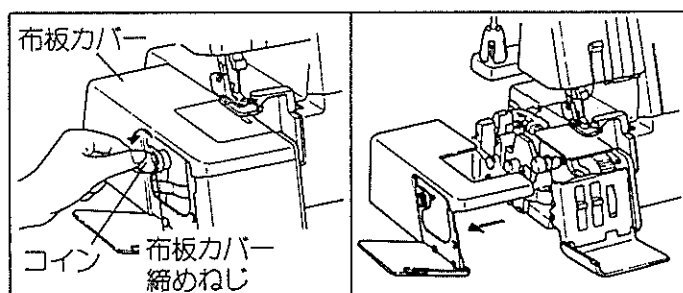
注油

- 1 カ月に 1 ～ 2 回付属のミシン油を注油してください。
(毎日数時間ご使用の場合は、1 週間に 1 回注油してください)
- 矢印の箇所に 1 ～ 2 滴注油してください。



お手入れ

- ミシン各部にたまったホコリは、付属のミシンブラシでときどき掃除をしてください。



- 布板カバーは、布板カバー締めねじをコインでゆるめて取りはずします。

モーターのカーボンブラシを取り替えるには……

- このミシンのモーターには、カーボンブラシが2個ついています。
- 長くご使用いただくと、カーボンブラシが摩耗します。そのままお使いになりますと、モーター故障の原因になりますのでご注意ください。

※カーボンブラシの取り替えは、最寄りのブラザー販売店にお申し付けください。(交換・調整は有料)

いつもきれいに……

- かるい汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。ひどい汚れは中性洗剤を溶かした湯または水を浸した布でふき、次に湯または水に浸した布で洗剤をふき取ってください。

ミシンの大敵

- ストーブやアイロンは近づけないでください。
- ベンジン・ガソリン・シンナーなどは絶対に使わないでください。
- 保管するときは、直射日光をさけてください。

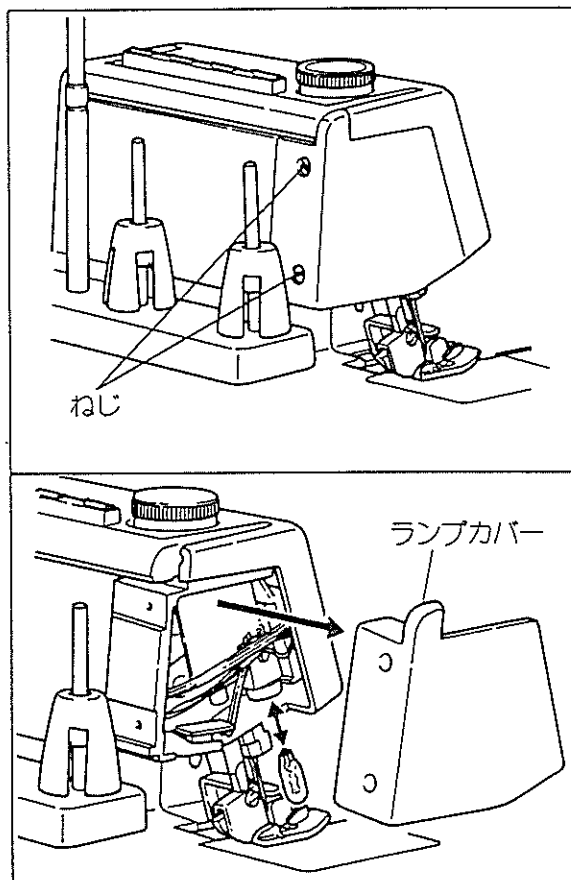
17. こんなときには

- ミシンの調子が悪い場合は、まず次の原因を確かめましょう。

もし、それでも直らない場合は、最寄りのブラザー販売店にお申し付けください。

調子よくぬえない状態	原因	処 理
1. 布地を送らない	布押えの圧力が弱すぎる場合	押え調節ダイヤルを右へ回し押え圧力を強くします。
2. 針が折れる	1. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている場合	正しい針と取り替えます。
	2. 針の取り付けが悪い場合	正しく取り付けます。
	3. 布地を無理に引っ張った場合	ぬいながら布地を強く押さえたり引っ張らないでください。
3. 糸が切れる	1. 糸の通し方がまちがっている場合	正しく通し直します。
	2. 糸が必要以外のところから入っている場合	糸かけなどに糸がからんでいないか確かめます。
	3. 糸調子が強すぎる場合	〈糸調子〉をご覧ください。
	4. 針の取り付けが悪い場合	針の取り付け方を確かめてください。
	5. 悪い針を使用した場合	針はブラザーミシン針HA×1をご使用ください。
4. 目飛びする	1. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている場合	正しい針と取り替えます。
	2. 針の取り付けが不完全な場合	正しく取り付けます。
	3. 悪い針を使用した場合	針はブラザーミシン針HA×1をご使用ください。
	4. 糸の通し方がまちがっている場合	正しく通し直します。
	5. 布押えの圧力が弱すぎる場合	押え調節ダイヤルを右へ回し押え圧力を強くします。
5. ぬい目の調子が悪い	糸調子が完全でない場合	〈糸調子〉をご覧ください。
6. ぬい物にしわがよる	1. 糸調子が強すぎる場合	薄物をぬうときは、できるだけ調子をゆるめます。
	2. 糸の通し方がまちがっていたり必要以外のところから入っている場合	正しく通します。
	3. 差動送りの調節が悪い場合	〈差動送りの調節〉をご覧ください。

18. ランプの交換



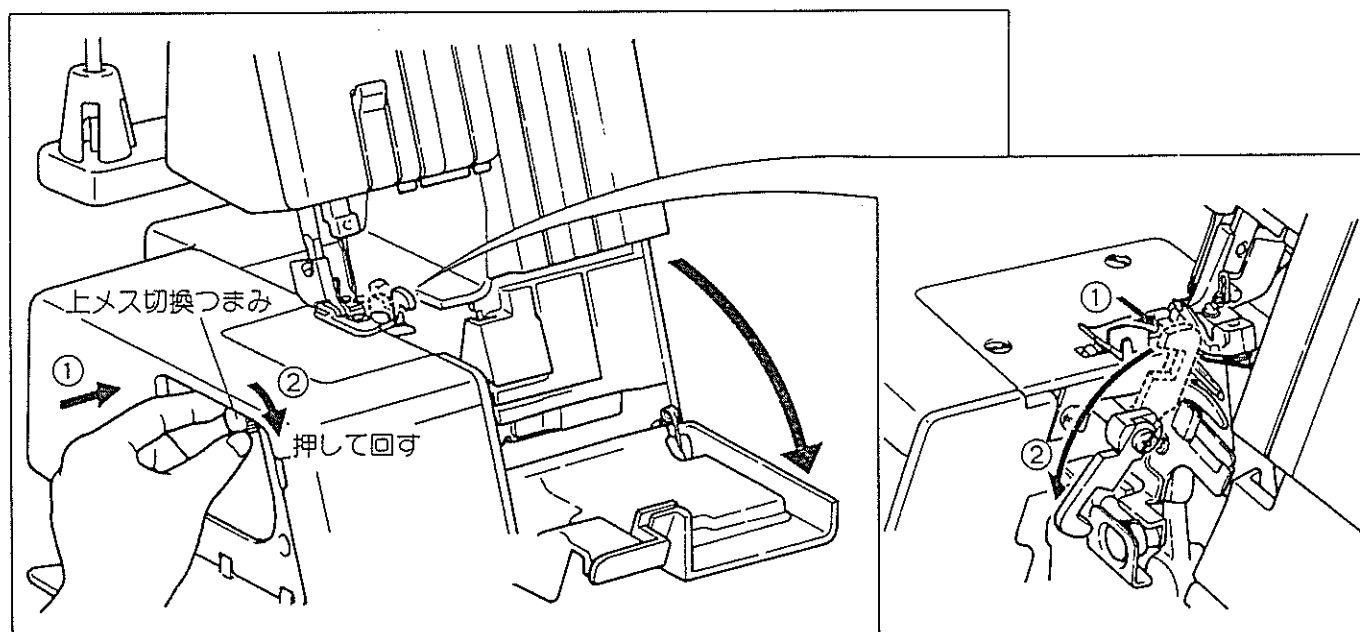
ランプの交換

図のようにランプカバーをはずします。

ランプを引き抜き、新しいランプに取り替えます。

※ランプ(8V、2.4W)は、最寄りのブラザー販売店でお買い求めください。

19. 上メスのたおし方



布を切らずにぬいたい場合

- 1) 針を針板より上の位置にします。
- 2) サイドカバーを開き、上メス切替つまみを押してから回し、上メスをたおします。

ご注意

かがり幅が、かがり幅調節ダイヤルの目盛より、広くなり過ぎないようにしてください。広くなり過ぎるとオーバールーパーが布端に引っかかり、故障の原因になります。
※ぬい始める前に、サイドカバーを閉じてください。

20. 仕様

項 目	仕 様
ぬ い 速 度(最高)	毎分1,500針
ぬい目長さ(ピッチ)	2mm~5mm(標準 約3mm)
針 棒 ス ト ロ ー ク	25mm
布 押 え	自由押え
布押え上昇量(2段め)	5mm(6mm)
か が り 幅	5~7mm(左針より)
使 用 ミ シ ン 針	HAX1...11番・14番
使 用 糸 本 数	4本
ミ シ ン 重 量	8.5kg
モ ー タ ー 定 格	電圧100V 50/60Hz
ラ ン プ 定 格	電圧8V 2.4W